

平成26年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月31日

上場取引所 東

上場会社名 テクノアルファ株式会社

コード番号 3089 URL <http://www.technoalpha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島 勉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室 マネージャー (氏名) 安積良典

TEL 03-3492-7421

四半期報告書提出予定日 平成26年4月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第1四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	950	109.1	109	—	154	—	87	—
25年11月期第1四半期	454	△40.1	△25	—	8	△95.5	△2	—

(注) 包括利益 26年11月期第1四半期 57百万円 (17.3%) 25年11月期第1四半期 48百万円 (△51.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第1四半期	43.29	—
25年11月期第1四半期	△1.15	—

(注) 平成25年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため、また、平成26年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第1四半期	2,668	1,623	60.8	805.23
25年11月期	2,088	1,620	77.6	803.92

(参考) 自己資本 26年11月期第1四半期 1,623百万円 25年11月期 1,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	27.00	27.00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

平成26年11月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期1Q	2,316,000 株	25年11月期	2,316,000 株
26年11月期1Q	300,110 株	25年11月期	300,110 株
26年11月期1Q	2,015,890 株	25年11月期1Q	2,015,890 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期連結決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
5. 補足情報	13
仕入、受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国等の新興国経済の減速などの影響があったものの、政府による経済政策の効果もあり円安、昨年からの株高基調が継続し、個人消費や企業収益に改善がみられるなど、景気は緩やかに回復してまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、主要顧客である自動車メーカー及びその関連するメーカーにおいて、好調な自動車販売に支えられ、大型案件の検収もあり、前年同期比で好調に推移いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は950,403千円（前年同四半期比109.1%増）、営業利益は109,683千円（前年同四半期は25,694千円の営業損失）、経常利益は154,821千円（前年同四半期比1,794.9%増）、四半期純利益は87,287千円（前年同四半期は2,448千円の四半期純損失）となりました。

なお、平成26年1月21日付で株式会社ケーワイエーテクノロジーズの株式を取得したことによる連結子会社化に伴い、新たにサイエンス事業へと進出いたします。なお、同社の決算日は9月30日であり、当第1四半期連結会計期間におきましては、みなし取得日を平成26年2月28日とし、貸借対照表のみを連結しております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①エレクトロニクス事業

当事業においては、従来、半導体装置事業が営んでおりました当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を海外より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。さらに、電子材料・機器事業が営んでおりましたエレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、主要顧客である自動車メーカー及びその関連メーカーにおいて、好調な自動車販売に支えられ、大型案件の検収もあり、好調に推移いたしました。この結果、売上高は660,069千円（前年同四半期比137.9%増）、営業利益は102,567千円（前年同四半期は4,886千円の営業損失）となりました。

#### ②マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。マリン事業については、前連結会計年度以前より受注した案件が予定どおりに売上げましたが、環境機器事業については、第2四半期以降に受注を見込んでおり、当第1四半期連結累計期間においては低調に推移いたしました。この結果、売上高は186,775千円（前年同四半期比233.2%増）、営業利益は36,494千円（前年同四半期比552.6%増）となりました。

#### ③S I事業

当事業においては、連結子会社である株式会社ペリテックが、計測・検査システムを顧客から受託し、自社でハードウェア技術とソフトウェア技術を融合した計測・検査システムに仕上げ、顧客に販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度末現在の受注が前年同期比で減少しており、当第1四半期連結累計期間においては低調に推移いたしました。この結果、売上高は103,558千円（前年同四半期比14.5%減）、営業利益は3,872千円（前年同四半期比51.7%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,668,801千円（前連結会計年度末比579,885千円の増加）となりました。これは主に、受取手形の増加6,209千円、売掛金の増加281,475千円及びのれんの増加171,854千円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,623,273千円（前連結会計年度末比2,645千円の増加）となりました。これは主に、四半期純利益87,287千円の計上及び配当金の支払54,429千円が行われた一方で、その他有価証券評価差額金の減少5,399千円及び繰延ヘッジ損益の減少24,813千円によるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は60.8%（前連結会計年度末比16.8ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	358,712	374,017
受取手形	116,512	122,721
電子記録債権	35,012	—
売掛金	576,067	857,543
有価証券	9,996	388
商品	203,158	342,831
仕掛品	38,758	53,196
その他	110,143	105,207
貸倒引当金	△65	△87
流動資産合計	1,448,295	1,855,819
固定資産		
有形固定資産	186,115	202,318
無形固定資産		
のれん	57,763	229,617
その他	7,098	6,615
無形固定資産合計	64,861	236,233
投資その他の資産		
投資有価証券	295,163	276,212
その他	94,479	98,217
投資その他の資産合計	389,643	374,430
固定資産合計	640,620	812,982
資産合計	2,088,916	2,668,801
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	173,522	311,550
短期借入金	—	340,000
未払法人税等	63,045	68,049
賞与引当金	—	12,891
前受金	9,794	10,450
その他	101,943	166,508
流動負債合計	348,305	909,451
固定負債		
退職給付引当金	38,883	49,879
役員退職慰労引当金	70,082	71,885
資産除去債務	2,895	2,897
その他	8,122	11,413
固定負債合計	119,983	136,076
負債合計	468,288	1,045,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,633,089	1,665,948
自己株式	△265,826	△265,826
株主資本合計	1,589,119	1,621,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,404	4
繰延ヘッジ損益	26,102	1,289
その他の包括利益累計額合計	31,507	1,294
純資産合計	1,620,627	1,623,273
負債純資産合計	2,088,916	2,668,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
売上高	454,609	950,403
売上原価	300,781	637,465
売上総利益	153,828	312,938
販売費及び一般管理費	179,522	203,255
営業利益又は営業損失(△)	△25,694	109,683
営業外収益		
受取利息	2,885	3,158
受取配当金	365	1,708
投資有価証券売却益	15,859	6,880
為替差益	12,780	20,684
保険返戻金	1,960	11,026
その他	468	2,018
営業外収益合計	34,319	45,477
営業外費用		
支払利息	156	88
電子記録債権売却損	—	207
支払手数料	294	42
その他	4	—
営業外費用合計	454	339
経常利益	8,170	154,821
特別損失		
固定資産除却損	—	15
投資有価証券評価損	3,006	—
特別損失合計	3,006	15
税金等調整前四半期純利益	5,163	154,805
法人税、住民税及び事業税	6,907	67,661
法人税等調整額	704	△143
法人税等合計	7,612	67,517
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,448	87,287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,448	87,287



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,448	87,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,056	△5,399
繰延ヘッジ損益	39,046	△24,813
その他の包括利益合計	51,102	△30,213
四半期包括利益	48,654	57,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,654	57,074
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	277,424	56,062	121,121	—	454,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	11,231	—	11,231
計	277,424	56,062	132,353	—	465,841
セグメント利益又は損失(△)	△4,886	5,592	8,013	—	8,719

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,719
全社費用（注）	△34,413
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△25,694

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	660,069	186,775	103,558	—	950,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	26,331	—	26,331
計	660,069	186,775	129,889	—	976,735
セグメント利益	102,567	36,494	3,872	—	142,934

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	142,934
全社費用（注）	△33,251
四半期連結損益計算書の営業利益	109,683

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ケーワイエーテクノロジーズの全株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、報告セグメントを従来の3事業から「サイエンス事業」を追加し、4事業としております。

なお、株式会社ケーワイエーテクノロジーズのみなし取得日を平成26年2月28日としているため、貸借対照表のみを連結しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ケーワイエーテクノロジーズの全株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、サイエンス事業において、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、177,744千円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## 仕入、受注及び販売の状況

## (1) 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	513,709	+263.8
マリン・環境機器事業	137,929	+346.0
S I 事業	—	—
合計	651,638	+278.6

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
エレクトロニクス事業	434,290	+60.4	522,582	+148.7
マリン・環境機器事業	217,056	+623.5	447,386	+12.7
S I 事業	73,026	△60.4	90,311	△64.4
合計	724,373	+49.3	1,060,279	+23.2

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	660,069	+137.9
マリン・環境機器事業	186,775	+233.2
S I 事業	103,558	△14.5
合計	950,403	+109.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。